

御奉賛のお願い

垂木郷(現掛川市垂木地区)の重儀として続けられている「垂木の祇園祭」ですが、各家による農耕馬飼育の廃止、役料(補助料)の廃止など財政面では非常に厳しくなっております。江戸時代には祇園祭の流鏝馬役料として約二十二石、雨櫻神社と六所神社には、御朱印地の七十五石を拝領していました。明治から両神社は郷社と村社と社格が定められ、手厚い保護を受け祇園祭を斎行されていきます。戦後は保護や助成を外され、廃絶の危機もありましたが、平成三年に流鏝馬神事が再興し、数年毎ではありますが行われるようになりました。しかしながら神輿や諸道具も欠損や漆の剥離が目立ち、受け継がれた物を次代に繋いで行く事も困難になってきています。

出費ご多端の折とは思いますが、何卒皆様のご支援ご助力を戴き、地域先人達の歴史、伝統文化の継承をしていけるようお願い申し上げます。

※江戸時代には一石＝一両と云われています。当時と現在では貨幣価値や物価など単純に比較できませんが、日本銀行金融研究所の資料では、蕎麦の価値から一両＝約十三万円とも出ています。

雨櫻神社

〒436-0221 掛川市上垂木1612

六所神社

〒436-0221 掛川市上垂木981

お問い合わせ (共通)

TEL 0537-26-0593